

台湾中央畜産会との定期情報交換会の概要について

独立行政法人農畜産業振興機構

このたび、独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、台湾中央畜産会（NAIF）と定期情報交換会議を開催しました。

本会議は、日本および台湾の畜産をめぐる情勢等について意見交換を行う場として、原則として毎年度交互に開催しており、今回で6回目となります。

1 日時：平成27年7月30日(木) 9時45分～12時15分

2 場所：独立行政法人農畜産業振興機構

3 出席者：

NAIF 王政騰（董事長）、朱慶誠（執行長）、王旭昌（企画組長）
ほか

ALIC 佐藤 純二（理事長）、強谷 雅彦（総括理事）、高橋博人（総括調整役）ほか

4 主要議題と概要

佐藤理事長と王董事長の挨拶の後、ALICから日本における高病原性鳥インフルエンザの発生と対応状況について説明。NAIFから台湾の牛乳及び乳製品の消費動向について説明。これらについて、意見を交換。

(1) 「日本における高病原性鳥インフルエンザの発生と対応状況」

- ・ ALICから、日本における高病原性鳥インフルエンザの発生と対応状況について説明。特に、高病原性鳥インフルエンザに対する措

置として、疾病の状況のモニタリング、早期の発見と通報、迅速かつ適切な初動反応の重要性を説明。

- ・ N A I Fからは、防疫措置や初動反応の具体的な内容などについて関心が示された。

(2) 「台湾の牛乳及び乳製品の消費動向」

- ・ N A I Fから、台湾の乳業の現状、乳製品別の消費動向などを説明。特に近年、日本からのソフトクリーム of 輸入量が大幅に増加している現状について説明。
- ・ A L I Cからは、台湾における日本産牛乳乳製品の動向などについて、見解を聴取。

— お問い合わせ先 —
調査情報部国際調査グループ
担当者 木下・中島
電話 03-3583-9534
FAX 03-3584-1246